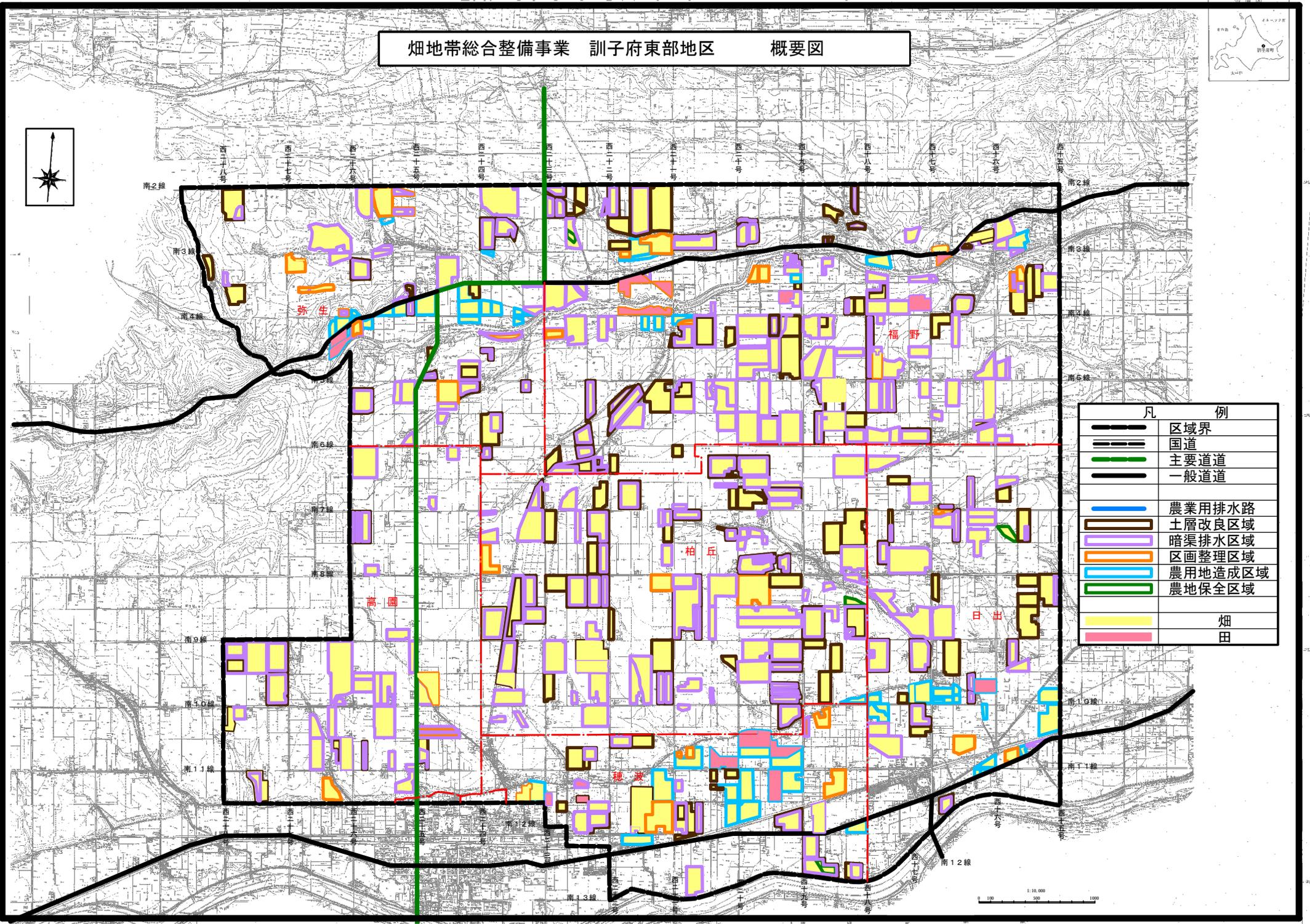


畑地帯総合整備事業 訓子府東部地区 概要図



凡 例	
	区域界
	国道
	主要道道
	一般道道
	農業用排水路
	土層改良区域
	暗渠排水区域
	区画整理区域
	農用地造成区域
	農地保全区域
	畑田
	畑田

1:10,000
0 100 500 1000

技術検討会委員からの事前意見及び意見への回答(畑地帯総合整備事業 訓子府東部地区)

番号	発言者	該当項目	意見等	回答
1	佐久間委員	基礎資料と評価結果書の「3(1)農作物の生産量の変化」	青刈りとうもろこしの作付面積が大きく増加しているが、地区内には酪農・畜産農家がどの程度いるのか。	<p>確認結果 地区内の酪農農家数は10戸、畜産農家数は3戸です。</p> <p>以下、参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況(平成16年)の酪農農家戸数は13戸、畜産農家戸数は3戸(離農した3戸の農地は既存の担い手に集積) ・なお、青刈りとうもろこしについては、輸入品(とうもろこし)の価格が高騰したため、作付面積が増加
2	佐久間委員 波多野委員	基礎資料と評価結果書の「3(2)営農経費の節減」	事業の実施によって排水条件の向上や大区画化がなされているのに、てんさいの労働時間やたまねぎの労働時間と機械経費があまり節減されていない要因は何か。作業体系に変化等があったのか。	<p>確認結果 てんさい及びたまねぎの労働時間・機械経費については、大型機械の作業効率が向上したものの、移植の際の定着を促すため、より丁寧に砕土・整地等の作業を行っており、節減率が小さくなっています。意見を踏まえ、記載内容を修正。</p> <p>(修正前) 本事業の実施によって排水改良や勾配修正が図られたことにより、大型農業機械による農作業が効率化され、全ての作物において、事業実施前と比べ農作業に係る労働時間等が節減している。</p> <p>(修正後) 本事業の実施によって排水改良や勾配修正が図られたことにより、大型農業機械による農作業が効率化され、事業実施前と比べ農作業に係る労働時間等が節減しているが、<u>たまねぎ及びてんさいについては移植の際に定着を促すため、より丁寧に砕土・整地等の作業を行っており、相対的に節減率が小さくなっている。</u></p>
3	波多野委員	基礎資料と評価結果書の「4(1)①農業生産性の向上」	水稻は現況(397kg/10a)から計画(371kg/10a)に単収が減る計画となっていたようだが、この理由は何か。	<p>確認結果 現況単収は過去5年(H11～H15)の平均単収から、計画単収(変更後)は過去5年(H18～H22)の平均単収から算定しており、計画単収が減っているのは、低温・日照不足により収量が減少したためである。</p> <p>なお、現在は、はくちょうもち(もち米)から、冷害に強いきたゆきもち(もち米)に作付を変更している。</p>
4	井上委員長	基礎資料の「4(2)①担い手の体質強化」	評価時点の兼業農家数が0戸となっているが、この理由は何か。法人の構成員となったのか、それとも離農してしまったのか。	<p>確認結果 担い手への農地集積に伴い、離農している。</p>

技術検討会委員からの事前意見及び意見への回答(畑地帯総合整備事業 訓子府東部地区)

番号	発言者	該当項目	意見等	回答																																													
5	佐久間委員	基礎資料の「4(2)①担い手の体質強化」	小規模農家(3.0ha未満、3.0～5.0ha)が増えているが、この要因は何であり、どのような経営形態なのか。	<p>確認結果 記載した内容に誤りがあったので修正</p> <p>【訓子府東部地区の経営規模別農家戸数】 (単位:戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">事業計画(平成23年)</th> <th rowspan="2">評価時点 (平成28年)</th> <th rowspan="2">増減 d=c-a</th> <th rowspan="2">増減率 (%) e=d/a</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成16年) a</th> <th>計画 c</th> <th>c</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.0ha未満</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>皆増</td> </tr> <tr> <td>3.0ha～5.0ha</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>5.0ha～10.0ha</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>△ 10</td> <td>△ 56%</td> </tr> <tr> <td>10.0ha～15.0ha</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>13</td> <td>△ 31</td> <td>△ 70%</td> </tr> <tr> <td>15.0ha以上</td> <td>88</td> <td>88</td> <td>103</td> <td>15</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>151</td> <td>151</td> <td>127</td> <td>△ 24</td> <td>△ 16%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典: 訓子府町聞き取り)</p> <p>小規模農家(3.0ha未満)が2戸増えているが、うち1戸は徐々に農地を手放し、H29に離農(H28には2.3haを所有)したため。 また、もう1戸については、北見市を中心に営農を展開している農家が訓子府町の農地(3.0ha未満)を取り込んだため(北見町を含めると22.0haを耕作)。</p>	区 分	事業計画(平成23年)		評価時点 (平成28年)	増減 d=c-a	増減率 (%) e=d/a	現況 (平成16年) a	計画 c	c	3.0ha未満	0	0	2	2	皆増	3.0ha～5.0ha	1	1	1	0	0%	5.0ha～10.0ha	18	18	8	△ 10	△ 56%	10.0ha～15.0ha	44	44	13	△ 31	△ 70%	15.0ha以上	88	88	103	15	17%	合計	151	151	127	△ 24	△ 16%
区 分	事業計画(平成23年)		評価時点 (平成28年)	増減 d=c-a		増減率 (%) e=d/a																																											
	現況 (平成16年) a	計画 c			c																																												
3.0ha未満	0	0	2	2	皆増																																												
3.0ha～5.0ha	1	1	1	0	0%																																												
5.0ha～10.0ha	18	18	8	△ 10	△ 56%																																												
10.0ha～15.0ha	44	44	13	△ 31	△ 70%																																												
15.0ha以上	88	88	103	15	17%																																												
合計	151	151	127	△ 24	△ 16%																																												
6	大熊委員	基礎資料と評価結果書の「5事業実施による環境の変化」	自然環境に関する配慮について、消極的な対応のように感じられる。 環境配慮は、基盤整備と相反する内容となることは承知しているが、もう少し積極的な取り組みとして記載できないか。	<p>意見を踏まえ、記載内容を修正 (修正前) (1) 自然環境 本事業は、訓子府町田園環境整備マスタープランの環境配慮区域に位置付けされていることから、工事の実施にあたり汚濁水の排出防止や低騒音・低振動・低排出ガスの建設機械を使用した結果、事業実施前と比較しても土砂等の流出もなく環境の変化は見受けられない。</p> <p>(修正後) (1) 自然環境 排水路において、うぐい・どじょうの生息が確認されたことから、工事の実施に際して汚濁水が下流に流出しないよう、土のう等で仮回し水路を設置するとともに、余裕のある工事計画により降雨時の施工を回避する等の配慮を行った。また、事業実施後には、目視にてうぐい・どじょうの生息を確認している。</p>																																													
7	波多野委員	—	本地区は、高収益作物の作付拡大や6次産業化による高付加価値化などの効果が発現しており、B/C値も高いことから非常に良い地区なので、優良事例としてPRしてはどうか。	<p>回答 北海道では農業農村整備事業を契機として地域の収益力を向上させた事例集を作成し、訓子府町と同じきたみらい農協管内である北見市の取組を公表している。今後、更新の際に訓子府町の取組も盛り込んだ内容としていくことを検討してまいりたい。</p>																																													